



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.27 —

平成30年11月22日発行

「必笑軍団」大活躍！

白岩ミニバスチーム地区優勝！いざ、全県へ！



11月11日(日)から行われていた「秋田県平成30年度ミニバスケットボール大会冬季交歓大会大曲仙北予選大会」の決勝が18日に美郷町のリオスで行われ、白岩ミニバスチームが20チームの頂点に立ちました。決勝戦は追いつ追われつの好ゲーム。白岩チームは最後まで集中力を切らさず、2点差で勝利を収めました。

年明けの1月5日から秋田市の市立体育館で行われる全県大会には、地区の優勝チームとして出場します。地区の代表としての誇りをもって試合に臨んで欲しいと思います。きっと彼女たちならば、夏の3位を上回る成績を収め、さらに上の大会への出場権を獲得してくれることでしょう。

引き続き、「必笑」でがんばれ！

※右の写真は、全県出場を決めた準々決勝のときの様子です。



地域の宝「白岩焼」を大切に二つの活動



陶芸教室開催！

11月19日(月)、白岩焼陶芸塾塾長のC.さんと白岩自治区会長のS.さんご夫妻を講師としてお招きし、6年生が卒業記念品作製のための陶芸教室を行いました。

最初、C.さんから形を作るいくつかの方法を教えてくださいました。土の中に空気が入っていると、焼いている最中に割れる場合もあるそうです。子どもたちは、しっかりと土をこねた後、工夫しながら、それぞれ二つの作品を作りました。作った作品は、2週間ほど自然乾燥し、素焼き、色付け、本焼きの行程を経て完成します。途中で割れたりせずに、全員の作品が完成するといいいですね。指導してくださったC.さん、S.さんありがとうございました。



「白岩焼誕生のひみつ」研究発表！

11月14日(水)、大曲小学校で行われた地区の社会科研究発表会に6年生3名が参加しました。7月に行われた白岩郷土カルタのPTA研修会をきっかけに、夏休みから続けてきた研究を「白岩焼誕生のひみつ—白岩郷土カルタを分類して分かったこと—」にまとめて発表しました。審査員の先生からは「調べていく中で自分たちの疑問がどんどん大きくなり、それを解決していくことで研究が深まっていく様子がよく分かった」などの講評をいただき、結果、最高賞である優秀賞を受賞しました。12月のPTAの際に、発表を聞いてもらう予定です。是非、PTAにお越しください。(裏面に発表で使用した資料を掲載しています)。



① 大森仙北児童生協社会科研究発表会

「白岩焼」誕生のひみつ
「白岩郷土カルタ」を分類して分かったこと



仙北市立白岩小学校 6年

② **研究発表の内容**

- 1 研究の動機
- 2 「白岩郷土カルタ」の分類
- 3 「白岩郷土カルタ」に登場する人物の歴史
- 4 「白岩焼」誕生のひみつ
- 5 まとめ
 -調べてみての感想とこれから調べてみたいこと-

③ **1 研究の動機**


○白岩郷土カルタ

- ・白岩地域の歴史や文化を題材にした「いろはカルタ」
- ・昭和54年ごろに作製
- ・平成11年まで子どもたちに配付

○白岩郷土カルタ研究會

- ・今年7月のPTAで

カルタを使って白岩のことをもって調べてみたい



④ **2 「白岩郷土カルタ」の分類**

カルタにはどんな歴史や文化が説かれていたのだろうか？

どんな内容のことが読み札にでてくるかを、「人物」「自然・産業」「建造物・伝統芸能」に分ける。

出てきた内容について「白岩郷土カルタ 解説」などを参考にまとめる。

人物	自然・産業	建造物・伝統芸能
17	17	20

・予想以上にたくさんの方がカルタに説かれていた。
 ・予想以上にたくさんの方が説かれていた。

⑤ **3 「白岩郷土カルタ」に登場する人物**

カルタに登場する人物はいつごろ、どんな活躍をしたのだろうか？

カルタに登場する人物が活躍したころを年表にまとめる。

同じ年表に社会科で学習する人物もまとめ、比べてみる。

室町時代	江戸時代	明治時代	昭和時代
1	12	1	3

・社会科の授業で学習したことと関係している人物がいた。
 ・白岩焼に関係のある人がたくさんいた。

⑥ **4 「白岩焼」誕生のひみつ**

「白岩焼」にはどんな歴史があるのだろうか？

「白岩焼」に関係するカルタを古い順にならべ、歴史を確認する。



⑦ 「白岩焼」や白岩地区の歴史に興味のある地域の人に話を聞いてみる。

松本藩七について


- ・相馬藩（現在の福島県）の藩産物
- ・焼き物をやるのによい場所を探して秋田に
- ・白岩に焼き物の窯を作ったのは、ここでよい土がとれたから
- ・最初は、鉱山からとれる灰石から金や銀などをとるための「るつぽ」を作製



「白岩焼」は、皿や花瓶ではなく、鉱山で使う道具作りから

⑧ 江戸時代は農業が中心なのに、なぜ「白岩焼」は鉱山で使う道具から発明したのだろうか？

「白岩焼」が始まったころの日本の様子を調べてみる。



田沼意次（たぬま おきつぐ）

- ・この頃（1767～1786）、江戸幕府の改革を行った
- ・長崎の貿易を盛んにした
- ・商人から税金をとった

農業以外の産業を利用

「白岩焼」が始まったころ、日本は農業以外の産業が盛んになってきた。

⑨ 秋田の鉱山について調べてみる。



当時の秋田には、鉱山がたくさんあった。特に、白岩の周辺にはたくさんある鉱山があった。

⑩ 「白岩焼」が始まったころ、日本は農業以外の産業が盛んになってきた。

日本の歴史
 + 秋田の産業
 + 白岩の自然
 = 白岩焼の誕生

当時の秋田には、鉱山がたくさんあった。特に、白岩の周辺にはたくさんある鉱山があった。

白岩には、焼き物に合ったよい土があった。

⑪ **5 まとめ** -調べてみての感想とこれから調べてみたいこと-

- ・白岩の歴史と日本の歴史が関係していることがあり驚いた。
- ・調べたことをまとめて、自分たちの考えを作るのが楽しかった。
- ・白岩カルタには、白岩焼の他にも、たくさんの方が書かれてる。他のことも調べてみたい。

⑫ **最後まで私たちの発表をお聴きくださりありがとうございます。**

【参考にした本】

- ・白岩郷土学習研究会『白岩郷土カルタ 解説』（1980年）
- ・秋田県教育委員会『ふるさと秋田の学び』（1996年）
- ・学研教育出版『学研まんが NEW日本の歴史 八』（2012年）
- ・東京書籍『新編 新しい社会 6上』（2015年）